

**2026（令和8）年度
神奈川県立保健福祉大学大学院
保健福祉学研究科保健福祉学専攻
【博士前期課程】**

学 生 募 集 要 項

目 次

1. 募集人員および取得できる学位・資格・免許.....	2
2. 出願資格	2
3. 出願前相談.....	4
4. 出願手続き.....	5
5. 出願資格審査申請.....	7
6. 出願の際の注意事項.....	8
7. 選抜方法	8
8. 合格発表・入学日.....	11
9. 入学手続・初年度納付金.....	11
10. 長期履修学生制度.....	12
11. 特待生制度	12
12. 教育訓練給付制度.....	13
13. 教育課程の概要	14
14. 研究指導に関わる教員の研究テーマ及び事前相談連絡先.....	17
15. 試験結果の開示について.....	23
16. 出願・受験・入学までの流れ.....	23

【書式等】

志願票 <A票>

受験票、写真票 <B票、C票>

研究計画書 <D票>

社会人特別選抜出願資格確認書 <E票>

出願用履歴書<F票>

出願資格審査申請書<G票>

入学検定料収入済証明書 <H票>



公立大学法人

神奈川県立保健福祉大学

KANAGAWA UNIVERSITY of Human Services

教育理念

少子高齢社会の進展に伴い、療養・介護期間の長期化への対応や在宅ケアの拡充と質の向上、利用者本位のサービス提供の基盤づくりなどの課題が増大しており、高齢期においても住み慣れた地域で質の高い生活を送れるような保健・医療・福祉の連携した取組みが求められています。

このようなニーズに応えるため、本学大学院保健福祉学研究科では「保健・医療・福祉の連携と総合化を念頭に置きつつ、これらを全体的に理解するとともに、各学問領域の専門性を深める教育・研究の推進」を目的として、保健・医療・福祉にかかわる広い理解を持ってそれぞれの分野と連携・協力をめざすことのできる高度専門職業人を育成することを目指しています。

入学者受け入れ方針（アドミッションポリシー）

本学大学院保健福祉学研究科博士前期課程の教育理念を達成し、高度専門職業人を育成するため、本研究科では以下のような要件を備えた学生を求めています。

1. 人や人を取り巻く社会に関する深い理解を求め、保健福祉学の探求に自ら取り組む意欲のある人
2. 専門職や当事者と協働し、各種システムと連携して、課題を解決し、評価する能力を高めたい人
3. 保健・医療・福祉の課題を、科学的・論理的に研究するための基礎的な能力を備えている人
4. 地域社会の保健・医療・福祉分野のリーダー、管理者または教育者として貢献する意欲のある人
5. さらに領域毎に以下の要件を満たしていることとする
 - 5-1. 看護領域において、看護実践のリーダー、質の高い看護スペシャリストや教育者・研究者を志し、科学的・論理的に研究し、看護学の立場からヒューマンケアに貢献するための基礎的な力を備え、看護学を探究する意欲のある人
 - 5-2. 栄養領域において、栄養・食生活と健康・疾病について、科学的根拠に基づいた解決・向上に意欲のある人
 - 5-3. 社会福祉領域において、支援の対象となる人のニーズを全人的に把握し、多職種連携しながらソーシャルワークを行うことにより、寄り添うような支援のできるための専門性を学び実践する意欲と基礎的な能力のある人
 - 5-4. リハビリテーション領域において、自らの専門性を深化させる向上心を持ち、専門領域の発展に継続的かつ真摯に取り組む意欲のある人

入学者選抜試験では、以上の観点に立って、筆記選考においては専門知識などを、面接選考においては課題解決へ向けて意欲的に研究に取り組もうとする力を、総合的に評価します。

注意事項

連絡が必要になった場合や選抜方法、募集要項の記載に変更が生じた場合は、本学 Web サイト上に情報を掲載しますので、ご注意ください。

1. 募集人員および取得できる学位・資格・免許

保健福祉学研究科保健福祉学専攻 博士前期課程	学 位	募集人員
看護領域（CNSコース・助産実践コースを含む）※	修士（看護学）	合計25名
栄養領域	修士（栄養学）	
社会福祉領域	修士（社会福祉学）	
リハビリテーション領域	修士（リハビリテーション学）	

※令和8年度から慢性看護 CNS コースを開講予定

	資格・免許
看護領域（助産実践コースのみ）	助産師国家試験受験資格
看護領域（選択希望者のみ）	養護教諭専修免許状
栄養領域（選択希望者のみ）	栄養教諭専修免許状

2. 出願資格

2.1 一般選抜出願資格

本研究科の一般選抜に出願できる者は、次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者（又は2026年3月までに卒業見込みの者）
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者（又は2026年3月までに授与される見込みの者）
- (3) 外国において、学校教育による16年の課程を修了した者（又は2026年3月までに修了見込みの者）
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者（又は2026年3月までに修了見込みの者）
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者（又は2026年3月までに修了見込みの者）
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者（又は2026年3月までに授与される見込みの者）

- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者（又は2026年3月までに修了見込みの者）
 - (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号）
 - (9) 短期大学及び高等専門学校の卒業者、専修学校専門課程の修了者等で、次のいずれかの資格（我が国の資格と同等以上であると認められる外国の資格を含む。）を満たし、かつ、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本学において認められた者（2026年3月31日までに満22歳に達する者に限る。）
 - (ア) 看護師の資格を有し、3年以上の実務経験を有すること（2026年3月までの見込みを含む。）
 - (イ) 管理栄養士の資格を有すること、又は栄養士の資格を有し管理栄養士国家試験受験資格を有すること
 - (ウ) 社会福祉士の資格を有すること
 - (エ) 理学療法士又は作業療法士として3年以上の実務経験を有すること（2026年3月までの見込みを含む。）
 - (10) その他、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本学において認められた者
- ※ (9)、(10)で出願することを希望する者は事前に出願資格審査を受ける必要があります。
 (7ページ「5. 出願資格審査申請（該当者のみ）」をご覧ください。)
- ※ 看護領域助産実践コースを希望する者は、本研究科の出願資格を満たすとともに、看護師免許（2026年3月31日までに取得見込みを含む。）を有し、性別に関し保健師助産師看護師法第3条で定める助産師の定義に該当していること。

2.2 社会人特別選拔出願資格

本研究科の社会人特別選抜に出願できる者は、社会人として保健・医療・福祉の関連分野で3年以上の実務経験を有し（2026年3月までの見込みを含む）、かつ、次のいずれかに該当する者とします。

なお、「3年以上の実務経験」には、非常勤、アルバイト、パート勤務の勤務経験も含まれますが、常勤換算し、1日8時間×5日×52週×3年=6,240時間以上の勤務を必要とします。

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者（又は2026年3月までに卒業見込みの者）
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者（又は2026年3月までに授与される見込みの者）
- (3) 外国において、学校教育による16年の課程を修了した者（又は2026年3月までに修了見込みの者）
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者（又は2026年3月までに修了見込みの者）
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者（又は2026年3月までに修了見込みの者）
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修

了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者(又は2026年3月までに授与される見込みの者)

(7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者(又は2026年3月までに修了見込みの者)

(8) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年2月7日文部省告示第5号)

(9) 短期大学及び高等専門学校卒業者、専修学校専門課程の修了者等で、次のいずれかの資格(我が国の資格と同等以上であると認められる外国の資格を含む。)を満たし、かつ、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本学において認められた者(2026年3月31日までに満22歳に達する者に限る。)

(ア) 看護師の資格を有し、3年以上の実務経験を有すること(2026年3月までの見込みを含む。)

(イ) 管理栄養士として3年以上の実務経験を有すること(2026年3月までの見込みを含む。)

(ウ) 社会福祉士の資格を有すること

(エ) 理学療法士又は作業療法士として3年以上の実務経験を有すること(2026年3月までの見込みを含む。)

(10) その他、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本学において認められた者

※ (9)、(10)で出願することを希望する者は事前に出願資格審査を受ける必要があります。

(7ページ「5. 出願資格審査申請(該当者のみ)」をご覧ください。)

※ 看護領域助産実践コースを希望する者は、本研究科の出願資格を満たすとともに、看護師免許(2026年3月31日までに取得見込みを含む。)を有し、性別に関し保健師助産師看護師法第3条で定める助産師の定義に該当していること。

3. 出願前相談(必須)

3.1 出願前相談(必須)

本研究科に出願しようとする者は、大学院入学後の履修計画や研究計画について、指導を受けようとする教員と事前に相談をする必要があります(必須)。

相談の申込みは電子メールにより受け付けます。以下の出願前相談申込メール受付期間に、17ページ以降の各教員の連絡先メールアドレスへ、件名を「博士前期課程出願前相談申込」としたメールを送信してください。メールの本文には、①志願者氏名、②連絡先(メールアドレス、電話番号)、③最終学歴、④長期履修学生制度(12ページ参照)希望の有無、⑤大学院での研究テーマの概要を記載してください。受付後、指導を受けようとする教員から具体的な相談の方法について、メール又は電話により返信します。

摘 要	期 間
出願前相談申込メール受付期間(一次募集)	2025年5月30日(金)～2025年8月6日(水) 17時
〃 (二次募集)	2025年11月13日(木)～2026年1月21日(水) 17時

※一次募集において定員を充足した場合には、二次募集はいたしません。

- ・出願前相談を行わないと出願できません。
- ・メールを送信してから5日経過しても返信がない場合は、本学事務局企画・地域貢献課大学院入試担当までお問い合わせください。

3.2 障害を有する等、受験上及び修学上の特別な配慮を必要とする場合（該当者のみ）

- (1) 障害等により、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、以下の特別措置申出期間中に、本学事務局企画・地域貢献課大学院入試担当にメールでご相談ください。

摘 要	期 間	連絡先
特別措置申出期間 (一次募集)	2025年5月30日（金）～2025年7月16日（水）17時	nyusi@kuhs.ac.jp
特別措置申出期間 (二次募集)	2025年11月13日（木）～2026年1月7日（水）17時	

※上記期間を過ぎた場合も可能な範囲で対応しますが、出願前のなるべく早い時期に申し出てください。

- (2) 配慮の内容や必要に応じて、志願者と面接を行います。
- (3) 本学所定の特別措置申請書（希望する受験上の配慮等の記入）、診断書等の提出が必要となります。
- (4) 事前の相談内容及び提出書類をもとに検討し、受験上許可する配慮事項を通知します。

4. 出願手続き

4.1 出願に必要な書類

出願には以下の書類が必要です。なお、「2. 出願資格」の出願資格が2.1項の(9)、(10)または2.2項の(9)、(10)に該当し、「5. 出願資格審査申請」で出願資格が認定されなかった場合は出願できません。

様式は、本学Webサイトからダウンロードしてください。

書類の種類と名称		記入上の注意点
A票	志願票	本学所定用紙に必要事項を漏れなく記入してください。
B票	受験票	1) 所定の様式を使用してください。 2) 写真(脱帽・上半身・正面縦4cm×横3cmのもので出願前の3か月以内に撮影したもの)を貼付してください。
C票	写真票	
D票	研究計画書	本学所定用紙に必要事項を漏れなく記入してください。
E票	社会人特別選抜 出願資格確認書	社会人特別選抜で出願する者のみ提出してください。本学所定用紙に必要事項を漏れなく記入してください。
F票	出願用履歴書	本学所定用紙に必要事項を漏れなく記入してください。既に出願資格審査で提出済みの者は再提出する必要はありません。

卒業(見込)証明書又は 修了(見込)証明書 (※)		1) 出身大学において作成したものを提出してください。ただし、学位を大学評価・学位授与機構から授与された者は、学位授与証明書(大学評価・学位授与機構に学位を申請中の者は学位授与申請受理証明書)(原本)を提出してください。 2) 「2. 出願資格」(2)から(8)に該当する者については、別途指示することがあります。 3) 既に出願資格審査で提出済みの者は再提出する必要はありません。
成績証明書 (<u>看護領域助産実践コースを 希望する者のみ</u>) (※)		1) 出身大学において作成したものを提出してください。その他に医療職の国家資格の受験資格を得るために修了又は卒業した学校又は養成所等がある場合は、その成績証明書も併せて提出してください。 2) 「2. 出願資格」(2)から(8)に該当する者については、別途指示することがあります。
受験票等返送用封筒		受験票等の返送用として使用しますので、定型外角形2号の封筒に、志願者の郵便番号、住所、氏名を記入し、440円分の切手を貼付してください。
H票	入学検定料収入済 証明書	検定料を出願期間内に、本学指定の銀行口座へ「電信扱い」で納付してください。納付後、入金したことが分かる証明書を本学所定用紙(H票)に貼付してください。 納付期限 一次募集：2025年8月17日(日) 二次募集：2026年2月1日(日) までです。

(※)について、他の出願書類と姓が異なる場合には戸籍抄本または戸籍個人事項証明書を添付してください(受験票送付の際に返却します)。

4.2 出願の方法

- (1) 出願は郵送に限ります。直接持参しての出願は受け付けません。
- (2) 出願書類をそろえて、封筒に志願者の氏名、住所を記入し、簡易書留で郵送してください。
- (3) 出願期間内の消印のあるもののみ有効です。
(出願期間より前の消印のものも受け付けませんので注意してください。)

4.3 出願期間

〔一次募集〕 2025年 7月26日(土)～ 8月17日(日)

〔二次募集〕 2026年 1月10日(土)～ 2月 1日(日)

※一次募集において定員を充足した場合には、二次募集はいたしません。

4.4 出願先

〒238-8522 神奈川県横須賀市平成町 1-10-1

神奈川県立保健福祉大学事務局 企画・地域貢献課 大学院入試担当 あて

4.5 入学検定料

入学検定料(30,000円)を出願期間内に、本学指定の銀行口座へ「電信扱い」で納入してください。振込

人名義は志願者本人の氏名としてください。

【振込み方法】

下記のいずれかの方法により、納入してください。

1) 金融機関の窓口 2) ATM（現金自動預け払い機） 3) インターネットバンキング

【検定料振込先】

銀行：三井住友銀行 金沢八景支店

店番：567

預金種目：普通

口座番号：7031169

口座名義：公立大学法人 神奈川県立保健福祉大学

【入学検定料収入済証明書】

検定料を納入したのち、検定料を指定口座に入金したことが分かる書類（原本）を本学指定の入学検定料収入済証明書（H票）に貼付し、出願書類と併せて提出してください。

<指定口座に入金したことが分かる書類の例>

1) 振込証明書 2) 利用明細 3) 振込完了画面を印刷したもの 等

5. 出願資格審査申請（該当者のみ）

「2. 出願資格」の出願資格が2.1項の(9)、(10)または2.2項の(9)、(10)に該当する場合は、出願資格審査により出願資格の認定を受ける必要があります。

5.1 出願資格審査申請期間等

① 出願資格審査申請期間

〔一次募集〕 2025年 7月4日（金）～ 7月16日（水） （期間内の消印有効）

〔二次募集〕 2025年12月4日（木）～ 12月16日（火） （期間内の消印有効）

※一次募集において定員を充足した場合には、二次募集はいたしません。

② 出願資格審査結果の通知

審査の結果は一次募集：2025年7月24日（木）、二次募集：2026年1月9日（金）頃までに申請者本人あてに郵送する予定です。審査の結果、出願資格なしと判定された場合は出願することはできません。

5.2 出願資格審査申請書類および提出方法

出願資格審査に必要な書類は次の通りです。

下記の書類を定型外角形2号の封筒に入れ、郵送（簡易書留）により、提出してください（出願は郵送に限ります）。

様式は、本学Webサイトからダウンロードしてください。

提出書類		説明
F 票	出願用履歴書	本学所定用紙に必要事項を漏れなく記入してください。
G 票	出願資格審査申請書	本学所定用紙に必要事項を漏れなく記入してください。
卒業（修了）証明書又は		出身学校において作成したものを提出してください。

提出書類	説明
卒業(修了)見込証明書 (※)	
国家資格の免許の写し又は 資格が確認できる書類	2.1項 (9)、2.2項 (9) で指定する国家資格の免許の写し 又は、2.1項(10)、2.2項(10)の資格が確認できる書類
審査結果通知用郵便料	790円分の切手を同封してください。

(※) について、申請書と姓が異なる場合には戸籍抄本または戸籍個人事項証明書を添付してください（審査結果を郵送する際に返却します）。

5.3 出願資格審査申請書類提出先

〒238-8522 神奈川県横須賀市平成町 1-10-1

神奈川県立保健福祉大学事務局 企画・地域貢献課 大学院入試担当 あて

6. 出願の際の注意事項

- 出願書類がすべてそろっていない場合には受理できませんので、出願の際には十分確認してください。また、出願書類として指示されている書類以外を提出されても受理しません。受理しない書類の返送費用は出願者負担となりますので注意してください。
- 出願書類は原則返却しません。ただし、やむを得ない事情で原本の返却を希望する場合は、事前にご相談ください。
- 英語以外の外国語で作成された書類には、必ず日本語訳を添付してください。
- 貼付する写真はすべて同一のものを使用してください。
- 出願後の書類の内容変更は認められません。ただし、氏名、住所、電話番号に変更があった場合は、本学事務局 企画・地域貢献課大学院入試担当まで連絡してください。
- 受験票（B票）は、出願受付後に受験者本人あてに郵送します。一次募集：2025年9月9日（火）、二次募集：2026年2月13日（金）までに届かない場合は、本学事務局 企画・地域貢献課大学院入試担当まで連絡してください。
- 入学を許可した後であっても、提出された出願書類の記載と相違する事実が発見された場合には、入学を取り消すことがあります。
- 一度受理した出願書類及び入学検定料は返還しません。

7. 選抜方法

7.1 選抜試験の内容

選抜は、提出された出願書類及び本学が実施する選考により総合的に判定して行います。

領域	試験区分	筆記試験			個人面接
		専門科目	専門共通科目	英語	
看護領域	一般選抜	○(15)	○(15)	○(10)	○(60)

領域	試験区分	筆記試験			個人面接
		専門科目	専門共通科目	英語	
	社会人特別選抜	○(15)	○(25)		○(60)
栄養領域	一般選抜	○(30)		○(20)	○(50)
	社会人特別選抜	○(30)		○(10)	○(60)
社会福祉領域	一般選抜	○(40)		○(20)	○(40)
	社会人特別選抜	○(40)			○(60)
リハビリテーション領域 (理学療法学専攻)	一般選抜	○(20)		○(20)	○(60)
	社会人特別選抜	○(20)		○(20)	○(60)
リハビリテーション領域 (作業療法学専攻)	一般選抜	○(30)		○(20)	○(50)
	社会人特別選抜	○(40)			○(60)

- ・括弧内の数字は配点です。
- ・個人面接は受験者1名、試験官2～3名で行う予定です。

領域	試験の種類	内 容
看護領域	専門科目	志望する分野に関する専門知識を問う記述試験です。
	専門共通科目	看護領域に共通して必要な知識を問う記述試験です。
	英語 (一般選抜受験者のみ)	看護領域に関連する英文の内容把握についての試験です。 英和辞書1冊の持ち込み可、専門用語辞書および電子辞書は不可
	個人面接	提出された研究計画書の内容を主とした口述試験です。
栄養領域	専門科目	栄養領域全般に関する専門知識を問う記述試験です。
	英語	栄養領域に関連する英文の内容把握についての試験です。
	個人面接	提出された研究計画書の内容を主とした口述試験です。
社会福祉領域	専門科目	社会福祉領域全般に関する専門知識を問う記述試験です。
	英語 (一般選抜受験者のみ)	社会福祉領域に関連する英文の内容把握についての試験です。
	個人面接	提出された研究計画書の内容を主とした口述試験です。
リハビリテーション領域 (理学療法学専攻)	専門科目	リハビリテーション領域全般に関する専門知識を問う記述試験です。
	英語	リハビリテーション領域に関連する英文の内容把握についての試験です。
	個人面接	提出された研究計画書の内容を主とした口述試験です。

領域	試験の種類	内 容
リハビリテーション領域 (作業療法学専攻)	専門科目	リハビリテーション領域全般に関する専門知識を問う記述試験です。
	英語 (一般選抜受験者のみ)	リハビリテーション領域に関連する英文の内容把握についての試験です。
	個人面接	提出された研究計画書の内容を主とした口述試験です。

7.2 試験日時

◎一次募集

年月日	試験区分	時 間
2025年9月20日（土）	筆記試験（2時間） 個人面接（20分）	9時～16時（予定）

◎二次募集

年月日	試験区分	時 間
2026年2月27日（金）	筆記試験（2時間） 個人面接（20分）	9時～16時（予定）

- ・昼食は指定の教室で各自お取りください。
- ・個人面接を終了した方から帰宅できます。
- ・集合時間等、詳細は受験票発送時にお知らせいたします。

7.3 受験の際の注意事項

- (1) 受験当日には本学受験票（B票）と筆記用具（HBの黒鉛筆又はシャープペンシル、消しゴム）を必ず持参してください。
- (2) 受験者は集合時間までに受付を済ませてください。試験開始後30分以上遅刻した場合は試験を受けられません。
- (3) 携帯電話等の電子機器の電源、時計のアラーム等は、試験会場に入る前に必ず切ってください。試験時間中に鳴動した場合は不正行為とすることがあります。
- (4) 試験時間中の時計の使用は、時計機能のみのものに限り許可します。辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいものについては、試験時間中使用できません。スマートフォン、携帯電話等を時計として使用することは禁止します。
- (5) 試験会場における受験者間の物品の貸借はいっさい認めません。
- (6) 大学敷地内から出ることはできません。昼食はあらかじめ各自で用意してください。
- (7) 面接試験までの待機時間は係員から指示のあった部屋で待機してください。面接試験終了までは本学から出ないでください。
- (8) 本学までの経路はあらかじめよく確認してください。
- (9) 試験当日、本学敷地へ自動車・オートバイ等の乗入れはできません。
- (10) 試験会場（本学）には受験者以外は入場できません。介助を必要とする方は出願前相談の際にお

申し出ください。

(11) その他必要が生じた場合には、受験票送付の際に通知します。

(12) 試験当日に、大学周辺で合格電報等の受付を行う者がいても、神奈川県立保健福祉大学とはいっ
さい関係ありません。トラブル等が生じてても本学としては責任を負えませんのでご注意ください。

(13) 新型コロナウイルス感染症等に関する要請事項

①新型コロナの感染症法上の位置付けが、5類に移行しました。そのため、試験日当日に罹患等により受験できなかった場合でも、再試験等の措置は行いません。

②試験当日は試験室の換気のため窓の開放等を行う時間帯があるため、体温調節のしやすい服装で受験してください。

7.4 入学者選抜方法の変更について

今後、必要が生じた場合には、募集要項に記載されている選抜方法とは異なる方法で選抜を実施することがあります。選抜方法に変更が生じた場合には、本学Webサイトへ掲載しますので、必ずご確認ください。

8. 合格発表・入学日

8.1 合格発表日

〔一次募集〕 2025年 10月 7日（火）13時

〔二次募集〕 2026年 3月 6日（金）13時

※一次募集において定員を充足した場合には、二次募集はいたしません。

8.2 合格発表の方法

(1) 本学Webサイトに合格者受験番号を掲載します。

- ・本学キャンパスでの合格者受験番号の掲示は行いません。
- ・電話・電子メールなどによる問い合わせには応じません。
- ・「本学Webサイトへの合格者受験番号の掲載」に同意しない場合は、志願票（A票）の該当欄にレ点を記入してください。

(2) 合格発表後、受験者本人に可否通知書を郵送します。

8.3 入学日

2026年4月1日（水）（入学式については別途お知らせします。）

9. 入学手続・初年度納付金

9.1 入学手続期間

〔一次募集〕 2025年 10月17日（金）～ 10月22日（水）（期間内の消印有効）

〔二次募集〕 2026年 3月 9日（月）～ 3月14日（土）（期間内の消印有効）

※一次募集において定員を充足した場合には、二次募集はいたしません。

9.2 入学手続

入学手続は郵送（簡易書留）でのみ受け付けます（期間内の消印有効）。

- (1) 入学手続についての詳細と必要な書類は、合格通知書と共に受験者本人あてに郵送します。
- (2) 手続書類に不足、不備がある場合には手続ができません。
- (3) 納付された入学料はいかなる理由があってもいっさい返還しません。

9.3 初年度納付金

区 分		金 額	備 考
入 学 料	神奈川県内在住の者	141,000円	9.1の入学手続期間内に納付してください。 1) 神奈川県内在住とは入学者本人が合格発表の日（一次募集：2025年10月7日、二次募集：2026年3月6日）の1年前から引き続き神奈川県内に住所を有する（住民票がある）者をいいます。
	神奈川県外在住の者	282,000円	2) 本学学部を卒業した者（卒業見込みの者を含む）又は本学大学院を修了した者（修了見込みの者を含む）は全額を免除します。
授 業 料		535,800円	入学後に前期・後期の2回に分けて納付していただきます。
その他の経費		テキスト代、実習衣等の実費です。	

- * 表に記載の金額については変更になることがあります。
- * 11. 特待生制度によって、特待生として選考された者については、入学料の全額を免除しますので、入学料を納付いただく必要はありません。

10. 長期履修学生制度

職業を有するなどの理由により、年間に修得できる単位数や研究活動・学習活動のための時間が限られており、2年間の標準修業年限で修了することが困難な方を対象に、4年間を上限とした長期の修業年限を設定し、入学の時点から計画的に履修していく長期履修学生制度を設けています。手続きについては、合格通知書と共に入学手続書類を送付する際にお知らせします。

本制度を利用した場合、年間授業料は通常の2年間の授業料をそれぞれの修業年限で除した金額となります。

また、本制度の認定を受けた方が予定より順調に履修計画が進んだ等の理由により、修業年限の短縮を希望する場合には、指導教員の意見を添え、申請することができます。その場合の年間授業料については別途計算方法を定めていますので、詳細は本学事務局教務学生課大学院担当（046-828-2525）までお問い合わせください。

11. 特待生制度

入学者選抜試験（1次募集）における成績が特に優秀な者を特待生として選考します。特待生として選考された者については、合格通知書とともに特待生通知書を送付します。特待生については入学料を全額免除します。

対象となる人数は、次のとおりです。

	人数
保健福祉学研究科保健福祉学専攻	2名以内

(※) 試験の状況により、特待生を選考しないこともあります。

Q入学者選抜業務に係る個人情報の取扱いについて

本学では、入学者選抜業務に際して志願者から収集した個人情報について、次のように取り扱います。

区 分	収集した個人情報の取扱い
選抜に合格し、入学手続を行った場合	入学後の学籍簿や成績簿等の作成のため、引き続き利用します。
選抜に合格したが、入学手続を行わなかった場合、 選抜に不合格となった場合	2027 年 3 月 31 日までにすべて廃棄します。

12. 教育訓練給付制度

本研究科の博士前期課程（全領域）が専門実践教育訓練講座に指定されました。一定の条件を満たす場合、入学料・授業料等の一部が支給されます。申請条件、申請方法等詳細については、厚生労働省の HP をご覧ください。

(https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/jinzaikaihatsu/kyouiku.html)

博士前期課程では、全ての領域が文部科学大臣認定「職業実践力育成プログラム（BP）」を取得しています。



Brush up Program
for professional

13. 教育課程の概要

(1)看護領域(助産実践コースを除く)、栄養領域、社会福祉領域、リハビリテーション領域

注:令和8年度以降の予定であり、変更になることがあります。

授業科目の名称			配当 年次	単位数			授業形態			時間 数	備考
必修	選択	自由	講義	演習	実習						
(保健福祉学研究科保健福祉学専攻 博士前期課程)											
共通科目	基幹科目	ヒューマンサービス特論・演習	1・2	3			○			60	3単位必修
	政策・行政	保健福祉行政特論	1・2		2		○			30	7単位以上選択
	管理	人事管理・育成論	1・2		2		○			30	看護領域CNSコースにおいては、4単位以上(コンサルテーション論・研究法Ⅰ・Ⅱいずれかを含む)、助産実践コースにおいては、10単位以上を選択(研究法Ⅰ・研究法Ⅱを含む)
	地域	ケアマネジメント・地域ケア特論	1・2		2		○			30	
	教育	教育方法論概説	1・2		2		○			30	
	専門連携	コンサルテーション論	1・2		2		○			30	養護教諭専修免許及び栄養教諭専修免許取得希望者は、教育方法論概説・コンサルテーション論・研究法Ⅰ・Ⅱを含む8単位以上を選択
	基礎科目	研究法Ⅰ 研究法Ⅱ	1・2 1・2		2 2		○ ○			30 30	
授業科目の概要	専門領域	看護倫理＊Ⅰ	1・2		2		○			30	10単位以上選択
		看護倫理＊	1・2		2		○			30	
		看護管理学・政策特論＊	1・2		2		○			30	看護領域CNSコースにおいては、＊科目から6単位以上、※科目6単位を選択する。
		看護管理学・政策演習	1・2		2			○		60	小児看護CNSコースにおいては、＊※科目に加えて、小児看護学特論Ⅰ～Ⅸ9単位、小児看護学演習Ⅰ～Ⅲ計5単位、小児看護学実習Ⅰ～Ⅲ計10単位、および看護課題研究4単位の合計40単位以上を履修する。
		看護教育学特論＊Ⅰ	1・2		2		○			30	がん看護CNSコースにおいては、＊※科目に加えて、がん看護学特論Ⅰ～Ⅳ計8単位、がん看護学演習Ⅰ～Ⅲ計6単位、がん看護学実習Ⅰ～Ⅲ計10単位、および看護課題研究4単位の合計40単位以上を履修する。
		看護教育学演習Ⅰ	1・2		2			○		60	慢性看護CNSコースにおいては、＊※科目に加えて、慢性看護学特論Ⅰ～Ⅴ計10単位、慢性看護学演習Ⅰ～Ⅱ計4単位、慢性看護学実習Ⅰ～Ⅲ計10単位、および看護課題研究4単位の合計40単位以上を履修する。
		臨床薬理学※	1・2		2			○		30	ただし、†は小児看護CNSコースに、‡はがん看護CNSコースに、§は慢性看護CNSコースに限る。
		フィジカルアセスメント※	1・2		2		○			30	
		病態生理学※	1・2		2		○			30	
		基礎看護学特論	1・2		2		○			30	
		基礎看護学演習	1・2		2			○		60	
		ウイメンズヘルスケア特論	1・2		2		○			30	
		ウイメンズヘルスケア演習	1・2		2			○		60	
		小児看護学特論ⅠⅠ	1・2		2		○			30	
		小児看護学特論Ⅱ†	1・2		2		○			30	
		小児看護学特論Ⅲ†	1・2		2		○			30	
		小児看護学特論Ⅳ†	1・2		2		○			30	
		小児看護学特論Ⅴ†	1・2		1		○			15	
		小児看護学演習ⅠⅠ	1・2		2			○		60	養護教諭専修免許取得希望者は、Ⅰから学校看護学特論、学校看護学演習を含む12単位以上を履修する。
		小児看護学演習Ⅱ†	1・2		1			○		30	
		小児看護学演習Ⅲ†	1・2		2			○		60	
		小児看護学実習Ⅰ†	1・2		2				○	90	
		小児看護学実習Ⅱ†	1・2		2				○	90	
		小児看護学実習Ⅲ†	1・2		6				○	270	
		慢性看護学特論	1・2		2		○			30	
		慢性看護学演習	1・2		2			○		60	
		先端侵襲緩和ケア特論	1・2		2		○			30	
		先端侵襲緩和ケア演習	1・2		2			○		60	
		療養生活支援看護学特論	1・2		2		○			30	
		療養生活支援看護学演習	1・2		2			○		60	
		精神保健看護学特論Ⅰ	1・2		2		○			30	
		精神保健看護学演習Ⅰ	1・2		2			○		60	
		地域看護学特論Ⅰ	1・2		2		○			30	
		地域看護学演習Ⅰ	1・2		2			○		60	
		学校看護学特論Ⅰ	1・2		2		○			30	
		学校看護学演習Ⅰ	1・2		2			○		60	
		がん看護学特論Ⅰ	1・2		2		○			30	
		がん看護学特論Ⅱ‡	1・2		2		○			30	
		がん看護学特論Ⅲ‡	1・2		2		○			30	
		がん看護学特論Ⅳ‡	1・2		2		○			30	
		がん看護学演習Ⅰ	1・2		2			○		60	
		がん看護学演習Ⅱ‡	1・2		2			○		60	
		がん看護学演習Ⅲ‡	1・2		2			○		60	
		がん看護学実習Ⅰ‡	1・2		2				○	90	
		がん看護学実習Ⅱ‡	1・2		2				○	90	
		がん看護学実習Ⅲ‡	1・2		6				○	270	
		慢性看護学特論Ⅰ	1・2		2		○			30	
		慢性看護学特論Ⅱ§	1・2		2		○			30	
		慢性看護学特論Ⅲ§	1・2		2		○			30	
		慢性看護学特論Ⅳ§	1・2		2		○			30	
		慢性看護学特論Ⅴ§	1・2		2		○			30	
		慢性看護学演習Ⅰ	1・2		2			○		60	
		慢性看護学演習Ⅱ§	1・2		2			○		60	
		慢性看護学実習Ⅰ§	1・2		2				○	90	
		慢性看護学実習Ⅱ§	1・2		4				○	180	
		慢性看護学実習Ⅲ§	1・2		4				○	180	
		看護開発学特論	1・2		2		○			30	
		看護開発学演習	1・2		2			○		60	
		看護課題研究	1～2	4				○		90	4単位必修(看護領域CNSコース)
		看護学特別研究	1～2	10				○		150	10単位必修(看護領域CNSコース・助産実践コースを除く)

授業科目の名称				配当 年次	単位数			授業形態			時間 数	備考	
			必修		選択	自由	講義	演習	実習				
授業科目の概要	専門科目	栄養学領域	人間栄養学	1・2	2			○			30	4単位必修 6単位以上選択 栄養教諭専修免許取得希望者は必修科目4単位、Ⅰから栄養実践活動調査研究特論を含む8単位以上を履修する。	
			臨床栄養学特論Ⅰ	1・2		2		○			30		
			臨床栄養学特論演習Ⅰ	1・2		2			○		60		
			食品機能学特論Ⅰ	1・2		2		○			30		
			栄養ケア・マネジメント特論	1・2	2			○			30		
			栄養ケア・マネジメント特論演習Ⅰ	1・2		2			○		60		
			栄養ケア・マネジメント実習Ⅰ	1・2		2				○	90		
			栄養実践活動調査研究特論Ⅰ	1・2		2		○			30		
			栄養実践活動調査研究特論演習Ⅰ	1・2		2			○		60		
			栄養政策論	1・2		2		○			30		
			栄養学特別研究	1～2	10				○		150	10単位必修	
	教職科目		養護・栄養教諭連携論	1・2			2	○			30	養護・栄養教諭連携論を含む自由4単位 ※1は養護教諭専修免許取得希望者のみ ※2は栄養教諭専修免許取得希望者のみ	
			学校保健学特論※1	1・2			2	○			30		
			学校栄養教育特論※2	1・2			2	○			30		
	専門科目の領域	社会福祉学領域	社会保障特論	1・2		2		○			30	10単位以上選択	
			介護福祉特論	1・2		2		○			30		
			ソーシャルワーク特論Ⅰ	1・2		1		○			15		
			ソーシャルワーク特論Ⅱ	1・2		1		○			15		
			ソーシャルワーク特論Ⅲ	1・2		1		○			15		
			ソーシャルワーク特論Ⅳ	1・2		1		○			15		
			社会福祉調査研究方法論	1・2		2		○			30		
			社会福祉原論	1・2		2		○			30		
			児童福祉特論	1・2		2		○			30		
			高齢者福祉特論	1・2		2		○			30		
			障害者福祉特論	1・2		2		○			30		
			低所得者福祉特論	1・2		2		○			30		
			社会福祉特別演習	1・2		2			○		60		
			地域福祉特論	1・2		1		○			15		
			社会福祉学特別研究	1～2	10				○		150	10単位必修	
	専門科目の領域	リハビリテーション学領域	理学療法学	運動機能制御学特論	1・2		2		○			30	10単位以上選択
				運動機能制御学特論演習	1・2		4			○		60	
				運動機能障害理学療法学特論	1・2		2		○			30	
				運動機能障害理学療法学特論演習	1・2		4			○		60	
				臨床理学療法学特論	1・2		2		○			30	
				臨床理学療法学特論演習	1・2		4			○		60	
				理学療法学特別研究	1～2	10				○		150	10単位必修
		作業療法学	機能障害作業療法学特論	1・2		2		○			30	10単位以上選択	
			機能障害作業療法学演習	1・2		3			○		45		
			生活障害作業療法学特論	1・2		2		○			30		
	生活障害作業療法学演習	1・2		3			○		45				
	作業療法学特別研究	1～2	10				○		150	10単位必修			
学位又は称号			修士（看護学） 修士（栄養学） 修士（社会福祉学） 修士（リハビリテーション学）	学位又は学科の分野			保健衛生学関係（看護学関係）、家政関係、社会学・社会福祉学関係、保健衛生学関係（リハビリテーション関係）						
修了要件及び履修方法								授業期間等					
2年以上在籍し、共通科目10単位以上（必修科目3単位、選択科目7単位）、専門科目10単位以上、特別研究10単位、合計30単位以上を履修する。 看護領域のCNSコースにおいては、2年以上在籍し、共通科目6単位以上（必修科目3単位、選択科目4単位以上）、修士論文に代えて看護課題研究4単位を含む専門科目40単位以上、合計46単位以上を履修する。								1学年の学期区分		2期			
								1学期の授業期間		15週			
								1時限の授業時間		90分			

授業科目等は予定であり、一部変更される場合があります。

(2)看護領域(助産実践コース)

授業科目の名称				配当 年次	単位数			授業形態			時間 数	備考	
					必修	選択	自由	講義	演習	実習			
(保健福祉学研究科保健福祉学専攻 博士前期課程助産実践コース)													
共通科目	連携科目	基幹科目	ヒューマンサービス特論・演習	1・2	3			○			60	10単位以上を選択 (研究法Ⅰ・研究法Ⅱを含む)	
		政策・行政	保健福祉行政特論	1・2		2		○			30		
		管理	人事管理・育成論	1・2		2		○			30		
		地域	ケアマネジメント・地域ケア特論	1・2		2		○			30		
		専門 連携	コンサルテーション論	1・2		2		○			30		
	基礎科目	研究法Ⅰ	1・2		2		○			30			
		研究法Ⅱ	1・2		2		○			30			
授業科目の概要	専門科目	助産学特論Ⅰ	助産学特論Ⅰ	1・2	1			○			15	4単位以上選択	
		助産学特論Ⅱ	助産学特論Ⅱ	1・2	1			○			15		
		助産学特論演習Ⅰ	助産学特論演習Ⅰ	1・2	2				○		60		
		助産学特論演習Ⅱ	助産学特論演習Ⅱ	1・2	2				○		60		
		助産学応用演習	助産学応用演習	1・2	3					○	90		
		助産学概論	助産学概論	1・2	2				○		30		
		助産基礎特論Ⅰ	助産基礎特論Ⅰ	1・2	2				○		30		
		助産基礎特論Ⅱ	助産基礎特論Ⅱ	1・2	2				○		30		
		助産診断技術特論Ⅰ	助産診断技術特論Ⅰ	1・2	2				○		30		
		助産診断技術特論Ⅱ	助産診断技術特論Ⅱ	1・2	2				○		30		
		助産診断技術特論Ⅲ	助産診断技術特論Ⅲ	1・2	2				○		30		
		助産実践演習Ⅰ	助産実践演習Ⅰ	1・2	2					○	60		
		助産実践演習Ⅱ	助産実践演習Ⅱ	1・2	2					○	60		
		助産地域母子支援特論	助産地域母子支援特論	1・2	2				○		30		
		助産管理特論	助産管理特論	1・2	2				○		30		
		助産実践実習	助産実践実習	1・2	11						○		330
		看護倫理	看護倫理	1・2		2			○				30
		看護理論	看護理論	1・2		2			○				30
		看護管理学・政策特論	看護管理学・政策特論	1・2			2		○				30
		看護管理学・政策演習	看護管理学・政策演習	1・2			2			○			60
		看護教育学特論	看護教育学特論	1・2			2			○			30
		看護教育学演習	看護教育学演習	1・2			2				○		60
		臨床薬理学	臨床薬理学	1・2			2			○			30
		フィジカルアセスメント	フィジカルアセスメント	1・2			2			○			30
		病態生理学	病態生理学	1・2			2			○			30
		基礎看護学特論	基礎看護学特論	1・2			2			○			30
		基礎看護学演習	基礎看護学演習	1・2			2				○		60
		ウイメンズヘルスクエア特論	ウイメンズヘルスクエア特論	1・2			2			○			30
		ウイメンズヘルスクエア演習	ウイメンズヘルスクエア演習	1・2			2				○		60
		小児看護学特論Ⅰ	小児看護学特論Ⅰ	1・2			2			○			30
		小児看護学演習Ⅰ	小児看護学演習Ⅰ	1・2			2				○		60
		慢性看護学特論	慢性看護学特論	1・2			2			○			30
		慢性看護学演習	慢性看護学演習	1・2			2				○		60
		先端侵襲緩和ケア特論	先端侵襲緩和ケア特論	1・2			2			○			30
		先端侵襲緩和ケア演習	先端侵襲緩和ケア演習	1・2			2				○		60
		療養生活支援看護学特論	療養生活支援看護学特論	1・2			2			○			30
		療養生活支援看護学演習	療養生活支援看護学演習	1・2			2				○		60
		精神保健看護学特論	精神保健看護学特論	1・2			2			○			30
		精神保健看護学演習	精神保健看護学演習	1・2			2				○		60
		地域看護学特論	地域看護学特論	1・2			2			○			30
		地域看護学演習	地域看護学演習	1・2			2				○		60
		がん看護学特論Ⅰ	がん看護学特論Ⅰ	1・2			2			○			30
		がん看護学演習Ⅰ	がん看護学演習Ⅰ	1・2			2				○		60
看護開発学特論	看護開発学特論	1・2			2			○		30			
看護開発学演習	看護開発学演習	1・2			2				○	60			
看護課題研究	看護課題研究	1～2	4						○	90			
学位又は称号		修士(看護学)		学位又は学科の分野				保健衛生学関係(看護学関係)、家政関係、社会学・社会福祉学関係、保健衛生学関係(リハビリテーション関係)					
修了要件及び履修方法								授業期間等					
2年以上在籍し、共通科目13単位以上(必修科目3単位、選択科目10単位以上)、修士論文に代えて看護課題研究4単位を含む専門科目48単位以上(必修科目44単位、選択科目4単位以上)、合計61単位以上を履修する。								1学年の学期区分		2期			
								1学期の授業期間		15週			
								1時限の授業時間		90分			

14. 研究指導に関わる教員の研究テーマ及び事前相談連絡先

(1) 看護領域 注：担当教員及び研究テーマは変更になることがあります。

教員名	主な研究テーマ	連絡先
○宮芝 智子 加藤木 真史 渡邊 恵	〔看護教育学〕 ・看護基礎教育に関する研究 ・看護継続教育に関する研究 ・看護学生および看護職者の発達の支援に関する研究	jsk1@kuhs.ac.jp
○水戸 優子 加藤木 真史 渡邊 恵 佐々木 杏子 長島 俊輔	〔基礎看護学〕 ・看護技術、技能の実証に関する研究 ・ヘルスアセスメント・フィジカルアセスメントに関する研究 ・基礎看護学に関する研究 ・看護基礎教育における教授学習方法に関する研究 ・看護実践能力の向上に関する研究	jsk2@kuhs.ac.jp
○村上 明美 ○谷口 千絵 ○山田 加奈子 ○吉田 安子 田辺 けい子	〔ウィメンズヘルスケア〕 ・妊娠・分娩・産褥・新生児の看護に関する研究 ・女性の健康と看護に関する研究 ・セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツと看護に関する研究 ・助産師の基礎教育および継続教育に関する研究	jsk3@kuhs.ac.jp
○川名 るり 西名 諒平	〔小児看護学〕 ・健康問題を抱えた子どもと家族の体験と看護に関する研究 ・地域で生活する子どもと家族への支援に関する研究 ・小児看護の基礎教育および継続教育に関する研究 ・卓越した小児看護実践の言語化	jsk4@kuhs.ac.jp
○高橋 奈津子 ○間瀬 由記	〔慢性看護学〕 ・慢性的に経過する病とともに生活する人の看護や教育に関する研究 ・成人期にある患者とその家族の療養支援やQOLに関する研究 ・ベスト・サポーティブ・ケア、緩和ケアに関する研究 ・補完代替療法に関する研究	jsk5@kuhs.ac.jp
○間瀬 由記 黒河内 仙奈	〔療養生活支援看護学〕 ・健康寿命の延伸に関する研究 ・成人・老年期にある人とその家族の退院・療養・生活支援、地域包括ケア、QOL維持向上に関する研究 ・エンドオブライフケアに関する研究	jsk6@kuhs.ac.jp
○野村 美香 大場 美穂 土井 英子	〔先端侵襲緩和ケア〕 ・先端治療・侵襲性の高い治療を受ける患者・家族のケアに関する研究 ・周手術期・救急看護・クリティカルケアに関する研究 ・がんの診断・治療から終末期に至る療養過程の緩和ケアに関する研究 ・がん看護、急性期看護に関するチーム医療と継続教育に関する研究	jsk7@kuhs.ac.jp
○臺 有桂 ○高橋 秀治 高橋 佐和子 中山 直子	〔地域看護学〕 ・公衆衛生看護活動におけるデータ分析とその活用に関する研究 ・地域や在宅（の生活の場）におけるケアと多職種連携に関する研究 ・学校保健及び養護教諭の活動に関する研究（養護教諭専修免許取得可） ・公衆衛生看護および在宅ケア人材育成に関する研究	jsk8@kuhs.ac.jp
○石原 美和 松永 早苗	〔看護開発学〕 ・看護をめぐる制度・政策全般に関する研究 ・看護専門職による社会ソーシャルイノベーション活動に関する研究 ・感染症に関する差別偏見に関する研究 ・健康危機管理システムに関する研究	jsk9@kuhs.ac.jp

CNS コース 教員名	主な研究テーマ	連絡先
がん看護 ○野村 美香 小林 珠実 土井 英子	・診断から終末期に至る療養過程における緩和ケアに関する研究 ・チーム医療・療養の場の移行における連携・調整に関する研究 ・患者・家族、医療者のストレス対処に関する研究 ・治療や療養の場の移行期にある患者・家族の意思決定に関する研究	jsk10@kuhs.ac.jp
小児看護 ○川名 るり 西名 諒平	・卓越した小児看護実践の言語化 ・子どもと家族の権利擁護、倫理的課題の解決に向けた研究 ・子どもと家族の看護に携わる看護職の質向上に関する研究 ・子ども・家族・医療機関・学校間などの連携・調整に関する研究	jsk11@kuhs.ac.jp
慢性看護 ○高橋 奈津子 ○間瀬 由記 黒河内 仙奈	・卓越した慢性看護実践に関する研究 ・当事者の体験・語りに関する研究 ・セルフケア支援、緩和ケアに関する研究 ・慢性看護に関する意思決定支援に関する研究	jsk12@kuhs.ac.jp

助産実践コース 教員名	主な研究テーマ	連絡先
○谷口 千絵 ○山田 加奈子 ○吉田 安子 田辺 けい子	・助産実践の課題解決に向けた研究 ・性と生殖に関する健康と権利に関連する当事者の支援に関する研究 ・助産実践における医療・福祉の連携・協働に関する研究 ・エビデンスのある助産実践を創出するための基礎的研究	jsk13@kuhs.ac.jp

○印の付されている者が指導教員です。指導教員は学生に対し、論文作成に関して全般的な指導を行います。

○印の付されていない者が指導補助教員です。指導補助教員は学生の論文作成に関する指導の補助を行います。

受験希望者は指導を受けようとする教員の連絡先に出願前相談をしてください。

(2) 栄養領域

教員名	主な研究テーマ	連絡先
○倉貫 早智	・日本型食生活の有効性に関する研究 ・食品の機能性を活用した生活習慣病等の代謝改善に関する研究 ・若年女性の食生活改善に関する研究	jse1@kuhs.ac.jp
○五味 郁子	・入院患者の栄養管理に関する研究 ・高齢者の栄養管理に関する研究 ・栄養ケアの倫理に関する研究	jse2@kuhs.ac.jp
○鈴木 志保子	・競技選手への競技力向上のための栄養サポートに関する研究 ・子どもの発育・発達に関する研究 ・生活習慣病の予防に関する研究	jse3@kuhs.ac.jp
○田中 和美	・高齢者の保健指導及び重症化予防の一体的実施に関する研究 ・介護予防と栄養状態改善に関する研究 ・認知症と栄養ケアに関する研究	jse4@kuhs.ac.jp
○向井 友花	・疾病の予防・改善に役立つ食品や食品成分の探索およびその分子機構に関する研究 ・食品衛生管理（調理施設における微生物制御）に関する研究	jse5@kuhs.ac.jp
○村越 智	・栄養投与ルートが免疫に与える影響についての基礎的研究 ・特殊タンパク質投与による侵襲時の生体防御能改善についての基礎的研究	jse6@kuhs.ac.jp

教員名	主な研究テーマ	連絡先
○山西 倫太郎	・ビタミンA（レチノール）による細胞抗酸化誘導について解析する ・免疫機能に対するレチノールの影響について解析する	jse7@kuhs.ac.jp
○駿藤 晶子	・AI（人工知能）を用いた食事調査法に関する研究 ・大量調理による栄養素の調理損失に関する研究	jse8@kuhs.ac.jp
○遠又 靖丈	・ヘルスサービスの事業評価（効果評価など）に関する疫学的研究 ・老化（生活機能低下、認知症など）における栄養学的な予防因子に関する疫学的研究 ・食事パターンに関する疫学的研究	jse9@kuhs.ac.jp
○飯田 綾香	・学校における食育の推進に関する研究 ・肝疾患の栄養療法に関する基礎的研究	jse10@kuhs.ac.jp
○片岡 沙織	・女性アスリートに対する栄養サポートに関する研究 ・パラアスリートに対する栄養サポートに関する研究	jse11@kuhs.ac.jp
○樋口 良子	・嚥下調整食の調理法に関する研究 ・地域における防災・災害時食支援に関する研究	jse12@kuhs.ac.jp
中西 朋子	・子どもの生活習慣（主に睡眠について）に関する研究 ・健康・生活観と健康に関する研究	jse13@kuhs.ac.jp

○印の付されている者が指導教員です。指導教員は学生に対し、論文作成に関して全般的な指導を行います。

○印の付されていない者が指導補助教員です。指導補助教員は学生の論文作成に関する指導の補助を行います。

受験希望者は指導を受けようとする教員の連絡先に出願前相談をしてください。

(3) 社会福祉領域

教員名	主な研究テーマ	連絡先
○小林 理	・子どもと家庭のソーシャルワークに関する研究 ・社会的養護に関する実践と制度の関係に関する研究	jss1@kuhs.ac.jp
○新保 幸男	・子ども家庭福祉に関する実践研究・政策研究 ・社会福祉学理論、ヒューマンサービス理論に関する研究	jss2@kuhs.ac.jp
○高橋 恭子	・医療福祉、医療ソーシャルワークに関する研究 ・社会福祉実践の歴史に関する研究	jss3@kuhs.ac.jp
○玉川 淳	・保健医療福祉の連携に関する研究 ・保健医療福祉人材の確保に関する研究	jss4@kuhs.ac.jp
○中村 美安子	・地域生活継続支援と環境整備に関する研究 ・住民福祉活動及び活動拠点に関する研究	jss5@kuhs.ac.jp
○行實 志都子	・ピアサポートに関する研究 ・ソーシャルワーカーのためのキャリアラダーに関する研究 ・精神障害者の就労支援に関する研究	jss6@kuhs.ac.jp

教員名	主な研究テーマ	連絡先
○在原 理恵	・障害者の地域居住における当事者の自律性と社会関係に関する研究 ・地域居住サービスを行う法人・事業所のアドミニストレーションに関する研究	jss7@kuhs.ac.jp
○大島 憲子	・在宅医療・介護連携及び家族支援に関する研究 ・認知症施策と認知症ケアの質の向上に関する実践研究	jss8@kuhs.ac.jp
○吉中 季子	・女性と子どもの貧困に関する研究 ・困窮者支援に関する研究 ・社会保障制度と貧困に関する研究	jss9@kuhs.ac.jp
○種田 綾乃	・障害者当事者活動・ピアサポート活動に関する研究 ・地域精神保健医療福祉に関する調査研究・実践研究	jss10@kuhs.ac.jp
岸川 学	・自閉スペクトラム症児・者とその家族への地域社会を基盤とした生活支援に関する研究 ・コミュニティ・ソーシャルワークに関する研究	jss11@kuhs.ac.jp
松江 暁子	・公的扶助における能力活用のあり方に関する研究 ・失業・貧困問題と社会保障制度に関する研究 ・韓国における福祉制度・政策に関する研究	jss12@kuhs.ac.jp
福馬 健一	・養護老人ホームに関する実践及び制度に関する研究 ・高齢者福祉、特に養老施設に係る歴史研究	jss13@kuhs.ac.jp

○印の付されている者が指導教員です。指導教員は学生に対し、論文作成に関して全般的な指導を行います。

○印の付されていない者が指導補助教員です。指導補助教員は学生の論文作成に関する指導の補助を行います。

受験希望者は指導を受けようとする教員の連絡先に出願前相談をしてください。

(4) リハビリテーション領域

理学療法学

教員名	主な研究テーマ	連絡先
○内田 賢一	・呼吸理学療法の作用機序に関する研究 ・高齢者の身体活動量に関する研究 ・理学療法士を目指す学生の職業適性に関する研究	jsr1@kuhs.ac.jp
○島津 尚子	・片麻痺者のバランス・歩行に関する研究 ・切断者のリハビリテーションに関する研究	jsr2@kuhs.ac.jp
○菅原 憲一	・運動制御機構に関する脳波・筋電図学的研究 ・運動学習に関する電気生理学的研究 ・各種動作および動作障害に関わる脳波・筋電図学的研究	jsr3@kuhs.ac.jp
○鈴木 智高	・二重課題法による歩行中の注意需要評価に関する研究 ・歩行制御および姿勢制御に関する研究 ・随意的筋弛緩時の運動制御に関する電気生理学的研究	jsr4@kuhs.ac.jp
○平瀬 達哉	・高齢者の健康寿命の延伸に寄与するリハビリテーション戦略の確立に向けた研究 ・生活期リハビリテーションの効果検証に関する研究	jsr5@kuhs.ac.jp
○藤田 峰子	・臨床における物理療法機器の安全管理に関する研究 ・骨盤底筋に関する研究 ・尿失禁に対する電気刺激療法の有効性に関する研究	jsr6@kuhs.ac.jp

教員名	主な研究テーマ	連絡先
仙波 浩幸	・精神障害者における身体的リハビリテーションに関する研究 ・精神障害者における理学療法評価に関する研究 ・身体活動が精神障害者の精神機能へ及ぼす影響に関する研究	jsr7@kuhs.ac.jp

○印の付されている者が指導教員です。指導教員は学生に対し、論文作成に関して全般的な指導を行います。

○印の付されていない者が指導補助教員です。指導補助教員は学生の論文作成に関する指導の補助を行います。

受験希望者は指導を受けようとする教員の連絡先に出願前相談をしてください。

作業療法学

教員名	主な研究テーマ	連絡先
○笹田 哲	・小児領域の作業療法に関する研究 ・対象者の役割やQOLに関する研究 ・人間作業モデルの評価、介入に関する研究	jsr8@kuhs.ac.jp
○白濱 勲二	・脳損傷者・高齢者における運動・認知機能に関する研究 ・上肢機能障害に関する研究 ・リハビリテーションの効果に関する研究	jsr9@kuhs.ac.jp
○奥原 孝幸	・精神障害領域における作業療法に関する研究 ・精神障害者のリハビリテーションに関する研究 ・認知行動療法を用いた臨床実践的研究	jsr10@kuhs.ac.jp
○渡邊 愛記	・身体障害領域における作業療法の効果に関する研究 ・脳血管障害患者の生活動作支援システムの開発および研究 ・認知症における作業療法の有効性に関する研究	jsr11@kuhs.ac.jp
○小河原 格也	・フレイル予防に関する研究 ・高齢期・地域領域の作業療法に関する研究	jsr12@kuhs.ac.jp

○印の付されている者が指導教員です。指導教員は学生に対し、論文作成に関して全般的な指導を行います。

○印の付されていない者が指導補助教員です。指導補助教員は学生の論文作成に関する指導の補助を行います。

受験希望者は指導を受けようとする教員の連絡先に出願前相談をしてください。

(5) 共通分野

教員名	主な研究テーマ	連絡先
○生田 倫子	・家族に関する心理学の基礎・実践研究 ・臨床カウンセリングの基礎・実践研究 ・組織のコンサルテーションに関する実践研究	jsj1@kuhs.ac.jp
○木村 芳滋	・線虫を用いた慢性疾患の発生機序に関する研究 ・線虫を用いたストレス応答に関する研究 ・線虫を用いた生体分子の局在イメージングに関する研究	jsj2@kuhs.ac.jp
○津田 学	・栄養ゲノミクスおよび栄養遺伝学を用いた研究 ・ショウジョウバエの飢餓応答に関する研究 ・ショウジョウバエを用いた脂質代謝の研究	jsj3@kuhs.ac.jp
○成 耆鉉	・昆虫生体の透明化技術開発 ・アメリカミズアブの飢餓超耐性の分子機構の研究 ・ショウジョウバエ一生まるごと記録装置の開発とその応用	jsj4@kuhs.ac.jp
○志村 華絵	・白血病細胞の分化増殖抑制に関する研究 ・貧血の病態生理に関する研究 ・高齢者と幼児の世代間交流が両者に及ぼす影響に関する研究	jsj5@kuhs.ac.jp

教員名	主な研究テーマ	連絡先
○城川 美佳	・小児の健康リテラシーに関する研究 ・在日外国人を対象とした感染症に関する情報提供のあり方に関する研究 ・学校における健康教育に関する研究	jsj6@kuhs.ac.jp
○深沢 和彦	・インクルーシブ教育の推進に関する研究 ・教師の指導行動と児童生徒の適応感に関する研究 ・学級集団づくり及び教員組織づくりに関する研究	jsj7@kuhs.ac.jp

○印の付されている者が指導教員です。指導教員は学生に対し、論文作成に関して全般的な指導を行います。

15. 試験結果の開示について

個人成績の内容（情報）を開示請求できる制度があります。ただし、個人情報保護のため受験者が本人の成績を開示請求する場合に限られます。

(1) 開示する内容（入学者選抜試験個人成績）

2026年度本学大学院入学者選抜試験の筆記試験と個人面接の得点および総合得点

(2) 開示請求の受付

受験生本人が直接窓口で受付することを要します。

① 請求期間

〔一次募集〕2025年10月7日（火）から2025年11月7日（金）まで（土日祝日を除く）

〔二次募集〕2026年3月6日（金）から2026年4月6日（月）まで

（土日祝日、3月11日（水）及び3月12日（木）を除く）

② 受付時間帯

平日 9時から17時（ただし10月7日（火）、3月6日（金）は13時から）

③ 受付場所

神奈川県立保健福祉大学事務局 企画・地域貢献課

④ 請求に必要な書類

2026年度本学大学院（博士前期課程）入学者選抜試験の受験票（B票）

（本人であることを確認します。）

(3) 成績開示の場所および開示方法

神奈川県立保健福祉大学事務局 企画・地域貢献課において成績を開示します。

開示方法は、入学選抜試験個人成績（本人分）の閲覧によります。

※電話等での請求にはいっさい応じられません。

※代理人は請求できません。

16. 出願・受験・入学までの流れ

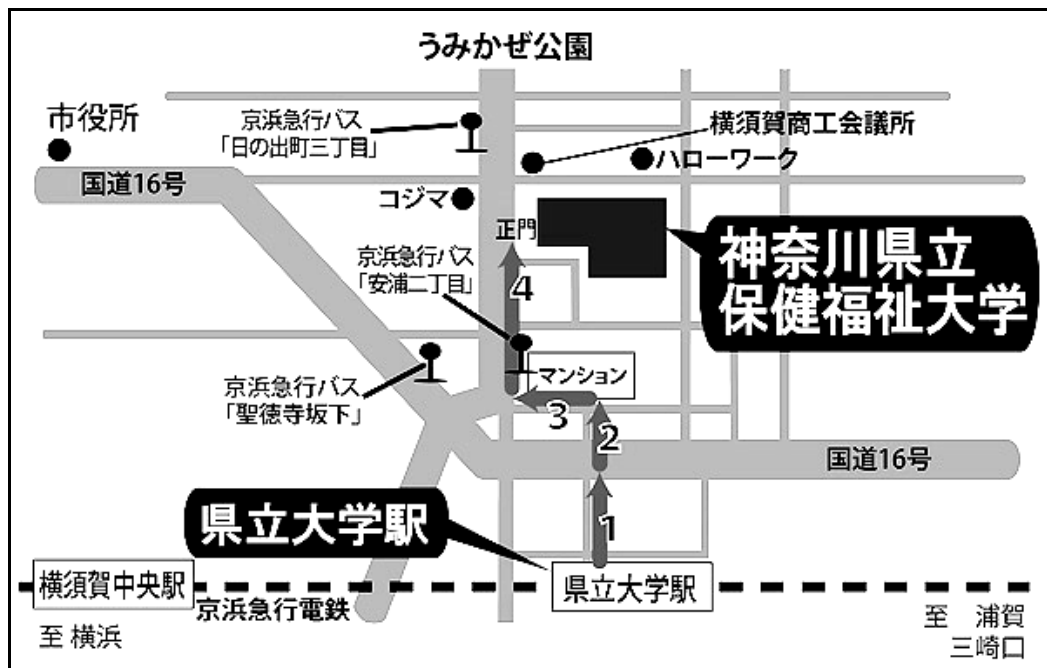
◎一次募集

出願前相談メール受付期間	2025年5月30日（金）～ 2025年8月6日（水）
出願資格審査期間（該当者のみ）※	2025年7月4日（金）～ 2025年7月16日（水）
出願期間	2025年7月26日（土）～ 2025年8月17日（日）
試験日	2025年9月20日（土）
合格発表	2025年10月7日（火）
入学手続期間	2025年10月17日（金）～ 2025年10月22日（水）

◎二次募集（一次募集において定員を充足した場合には、二次募集はいたしません。）

出願前相談メール受付期間	2025年11月13日（木）～ 2026年1月21日（水）
出願資格審査期間（該当者のみ）※	2025年12月4日（木）～ 2025年12月16日（火）
出願期間	2026年1月10日（土）～ 2026年2月1日（日）
試験日	2026年2月27日（金）
合格発表	2026年3月6日（金）
入学手続期間	2026年3月9日（月）～ 2026年3月14日（土）

※出願資格に関する項目です。該当する方は「5. 出願資格審査申請」をお読みください。



- ・試験当日は、正門以外からは入場できません。
- ・京浜急行電鉄「県立大学」駅より徒歩約7分

公立大学法人神奈川県立保健福祉大学

〒238-8522 横須賀市平成町1-10-1

代表電話 046 (828) 2500 FAX 046 (828) 2501

大学院保健福祉学研究科入学者選抜に関するお問い合わせは、

本学事務局企画・地域貢献課大学院入試担当へ

電話 046 (828) 2530

土日祝日を除く 8:30~17:15

Webサイト <https://www.kuhs.ac.jp> 電子メール nyusi@kuhs.ac.jp